

羅臼町議会だより

しれとこ



イカ干し（昭和35年） 撮影 岡本十四男 氏

平成22年

第**128**号

11月10日

第3回定例議会・第2回臨時議会	2～3
一般質問	4～6
町議会50年のあゆみ（後編）	7～9
議会の動き・編集を終えて	10

一般会計

6,919万円追加

総額 35億9,074万円

平成22年
第3回
定例議会

平成22年度 羅臼町一般会計補正予算

羅臼町110年等周年記念事業に要する経費	200万円
老人福祉センター管理運営に要する経費	44万円
議会議員に要する経費	10万円
一般行政に要する経費（積立金）	5,245万円
知床らうす医療再生プロジェクトに要する経費	69万円
賦課徴収事務に要する経費	60万円
防災行政無線管理に要する経費	91万円
野生鳥獣保護管理に関する経費	30万円
水産系廃棄物処理施設管理運営に要する経費	1,260万円
商工労働振興に要する経費	-191万円
温水プール管理運営に要する経費	101万円

国保会計

2,854万円追加

総額 11億7,163万円

平成22年度 羅臼町国民健康保険事業特別会計補正予算

保健事業に要する経費	395万円
国保一般事務に要する経費	2,000万円
退職被保険者等療養給付金	429万円
一般被保険者保険税還付金	30万円

診療所
会計

128万円追加

総額 2億8,172万円

平成22年度 羅臼町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算

診療所施設管理運営に要する経費	128万円
-----------------	-------

介護保険
会計

517万円追加

総額 3億2,102万円

平成22年度 羅臼町介護保険事業特別会計補正予算

国庫負担金等返還金	517万円
-----------	-------

九月十六日、第三回定例議会が開かれた。
一般質問三名・八件、一般会計等の補正予算、条例
制定及び人事案件、決算特別委員会の設置、意見書
などをすべて原案通り可決した。

平成21年度決算に基づく健全化判断比率の報告

(単位：%)

区分	実質赤字率	連結実質赤字比率	実質公債費率	将来負担比率
平成21年度決算	—	—	13.7	118.4
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0
財政再生基準	20.0	40.0	35.0	

条例改正

・ 羅臼町証明手数料徴収条例の一部改正

・ 羅臼町営体育施設等設置条例の一部改正

・ 羅臼町過疎地域自立支援促進市町村計画について

意見書

■ 道路の整備に関する意見書

■ 地方財政の充実・強化を求める意見書

■ 一般国道の維持管理の充実を求める意見書

■ 重症心身障がい児(者)への支援に関する意見書

付託案件 平成二十一年度羅臼町各会計決算認定

※羅臼町各会計

決算特別委員会

- 委員長 田中良
 副委員長 小野哲也
 委員 山下崧
 委員 坂本志郎



人事案件

◆ 羅臼町教育委員会の委員の任命について



川越 優英知氏

(任期 平成二十二年十月一日から平成二十六年九月三十日まで)

第二回臨時議会

(平成二十二年十月四日開催)

平成二十二年

羅臼町一般会計補正予算

一〇万円を追加

(歳入)

繰越金 一〇万円

(歳出)

教育委員会事務局に要する経費 一〇万円

水産系産業廃棄物処理業務のためホイールローダー一台を取得した(取得価格) 九、六九一、五〇〇円

財産の取得について

水産系産業廃棄物処理業務のためホイールローダー一台を取得した(取得価格) 九、六九一、五〇〇円

定例議会

質

問

3名、8件の質問 が提出され、町長・ 教育長の考えを問 いました

予防ワクチンの公 費助成で子宮ガン 対策を

坂本 志郎 議員

全国的にも任意接種のワ
クチンに助成制度が広がり
道内でも積極的な取組みが
進んでいます。

中でも子宮頸^{けい}ガンワクチ
ンに期待が高まっています
が、接種費用が高いことが
課題になっています。

このガンは年間約一万五
千人が発症し、約三千五百
人が死亡しており、二十代、
三十代の女性では最もかか
りやすいガンと言われてい
ます。十代前半に接種すれ
ば予防効果が高いとされて
いますが、三回接種で四万
五千円かかるため全国各自
治体で公費助成の動きが広
がっています。

道内各自自治体の公費助成
実施状況と、羅臼町の接種
該当者の小学六年女子数と
中学一年～三年の女子数及
び、当町の子宮頸^{けい}ガン公費

助成実施に対する考え方を
お伺いします。

町長

国や道の動向を見 極めながら前向き に検討したい

道内の公費助成実施状況
は、一七九市町村中、四一
市町村（二三％）が公費
による助成を決めています。

対象年齢の該当者数は小
学六年女子二十一名、中学
一年～三年女子八十六名で
あります。

当町の公費助成について
は依然厳しい財政状況にあ
りますが、ワクチン接種に
よって若い女性の病気の発
症が防げたり、命に関わる
ということです。国や
道の動向を見極めながら町
としてどこまでやれるのか
前向きに検討したい。

羅臼町非核・平和 の町宣言に伴う看 板設置や啓発事業 の計画は

坂本 志郎 議員

本年三月十八日第一回定
例議会において当町は「非
核・平和の町」宣言をしま
した。

他の同宣言をしている自
治体では、宣言看板の設置
や原爆写真展、広島・長崎
平和大会への派遣など、平
和への啓発事業を実施して
いるが、当町の計画と考
え方をお伺いします。

町長

非核・平和宣言の 懸垂幕設置を考え ている

非核・平和宣言の啓発事
業としては、塔・看板の設
置、記念植樹、パネル展な
どの啓発事業が考えられ、
町としては今後、非核・平
和宣言の懸垂幕の設置を考

えています。又、ソフト事
業として町のホームページ
や広報誌などを活用し、町
内外に向けた平和について
の啓発活動を行っていき
たいと考えています。

坂本議員の その他の質問

- ・ 羅臼町の医療・福祉に関
して
- ・ 介護保険制度見直しにつ
いて
- ・ 診療所建設計画進行状況
について
- ・ 二十四時間救急受入れと
入院病床稼働条件につ
いて
- ・ 医師・医療スタッフの人
材確保について
- ・ 小規模特別養護老人ホ
ム業者選定経緯と、施設
整備に伴う業者への公的
支援について



平成22年9月16日

一 般

診療所改築計画及び運営・経営について

高島 讓二 議員

億円程度であると云って浄財を募っているところですが、町があらかじめ試算した取り壊しを含めた建設費用及び医療機器類、設備費用の見積もり額はどの位の額になりますか。

③町にとって大事業となる診療所の改築は地元業者、企業の育成、商工振興、活性化などを図る良い機会であると考えます。

可能な限り、地元業者、企業に発注の機会を頂けるよう求められております。

改築及び設備、機器類の地元業者への発注についてのお考えをお聞きます。

診療所の運営・

経営について

診療所を三月に退任された前所長・本田医師、更にその前の所長の笹尾医師は共に一年で所長を退任された羅臼を去られました。

しかも、お二人の先生は、残念ながら円満に退任されたとは言えず、特に本田前

所長については退任に至った原因は診療所改築について行政が「なぜ、現場の意

見を聞かないのか」、「医師

住宅の水道管破裂が二カ月、

復旧しなかった」など、行

政との意思疎通の問題等が

新聞にも掲載され行政の対

応に不信感、不手際が露呈

しました。今後、このよう

な事が絶対にならないよう、行

政、事務方は猛省して頂き

たい。そこで、①医師が働

きやすい環境とは何か。②

他方、患者の立場から診療

所がかかりやすい、利用し

やすい環境とはどのように

お考えをお聞きます。

③医療の情報システム、I

T化について、電子カルテ

を中核とした看護、薬局、

医事会計、画像管理など診

療所内のネットワークシス

テム、診療所の外について

は、医療クラウド、遠隔診

断支援システム、専門医師

による診療支援ネットワー

ク等、僻地である本町では

必要なシステムだと思いま

すがお考えをお聞きます。

④本町は病院時代の不良債

務が積み重なり、町の経営

は破たんするのではないかと

町民の皆様に変な不安

感を抱かせました。

改築計画を進めるにあた

り、体制、運営、経営につ

いての計画案が未だにお示

しされていない事に危惧致

します。これらの計画案は

本来、基本構想と同時に示

すすべきだと思います。

また、一般会計からの繰

り入金 of 想定額、限度額は

どのくらいになると想定し

ているのかお聞きます。

町長

診療所の開設は平成二十四年四月を目指す

①現在、実施設計については建設費の積算を行っているところだが、十二月頃までかかる見込みであり、工事の発注は来年一月頃であり、平成二十四年四月の開設を目指し整備する。

厨房については、設計変更し、公表する予定である。

②本体工事四億円、解体費用一億円、医療機器、設備等に一億円、外溝整備費に四千万円、合計六億四千万

円を試算していますが、必要な時期にご報告したい。
 ③地域経済、活性化を図る観点からも地元業者が関われるものは、可能な限り配慮する必要があると考える。
 診療所の運営・

経営について

①今後、医師に対する配慮を十分にし、対応を細やかにしていく。また、医師が疲弊しない環境づくり、無理のない勤務形態、必要な設備の充実が考えられる。

また、医師住宅の整備を図っていく。

②診療時間、救急対応、訪問診療の充実、リハビリへの対応など、具体的に検討していく。

③医療ネットワークの導入は質の高い医療サービスの提供に貢献するものと認識しておりますので、医療関係者の意見も参考に考えていきたい。

④医療体制は十九床の入院設備を持った休日、夜間対応可能な二十四時間救急受け入れの出来る体制を考えている。

収支計画については現在作成中であり、お示し出来る内容となり次第、報告する。

一般会計からの繰入可能な金額についても収支計画と共に作成中であり併せて明らかにしていきたい。

地域医療について

田中 良 議員

羅臼町の地域包括ケアの推進で現在まで取り組まれている施策と今後の展開をどのように考えているのか、保健師と医療スタッフとの現在取り組まれている連携の状況と今後の展開についてお聞きしたい。

町長

現段階で出来るサービス体制を進めて行きたい

現在「地域包括ケア会議」を月一回開催し、医療と保健・福祉の連携強化を図り

ながら実践できるサービス内容について実施してまいります。今後は小さなことでも地域住民に喜ばれるような活動出来る事から始めて行きたいと考えている。

地域包括会議のほかに、保健師と医療スタッフの定例会議を開き診療所の状況、訪問診療や診療所の来診者情報、保健活動における事案などの情報交換を行っており、看護師・町内のケアマネージャ・包括担当保健師による月一回のケアプラン会議を開催している。今後の展開については「糖尿病等の未受診者対策」について検討して出来るだけ増やさないように診療所と協力・連携しながら対応して行きたいと考えている。

中高一貫教育について

田中 良 議員

中高一貫教育についてソフト面及びハード面において

て各種施策を展開していると思うが、今後の推進方策（目標）をどのように考えているのかお伺いしたい。

教育長

課題解決に向けた取り組みを進めて行きたい

中高一貫教育をスタートして四年目に入りまして、検証の意味を含めまして夏休み期間を利用して中学校・高等学校の全教員参加のもと研修会とフォーラムを開催し、「特別活動部会」「総合学習部会」は着実に成果を積上げておりますが「教科部会」の活動に課題がありこの活動を深化させるよう解決に向けた取り組みを進めている。又、ハード面におきましては、中学校の新設統合という課題はありますが、少子化が北海道平均を上回る傾向で推移しており、現在、望ましい将来の中学校教育のあり方について検討を行っているところですが、今後、より一

田中議員のその他の質問

- ・統廃合された学校の利活用について
- ・幼稚園・小中学校の維持管理について

一般質問と答弁は要約されています

議会だよりでは、質問、答弁の内容を要約して載せています。質問、答弁の全文について詳しくお知りになりたい方は、町役場総務課までお問い合わせ下さい。



町議会 ~後編~ 50年のあゆみ

昭和六十二年四月、佐藤盛雄氏、町長二期目当選。議長、大沼八郎氏就任。議

進委員会」設置。

十一月「羅臼町人づくり推進委員会」設置。

十一月、幌萌スノーシェルター設置。

十一月、幌萌スノーシェルター設置。

十一月「羅臼町人づくり推進委員会」設置。

昭和六十二年四月、佐藤盛雄氏、町長二期目当選。議長、大沼八郎氏就任。議

昭和五十八年三月、羅臼町史第二巻発行。

五月、町長に佐藤盛雄氏、議長、菊池岩雄氏が就任。議員、二十名が当選される。

六月十五日、「羅臼ビジターセンター」開館。

十一月、国道三三四号、全線舗装となる。

昭和五十九年五月「知床国立公園」二十周年記念。

十二月、町民温水プール完成。

昭和六十年二月十三日、吹雪により通行止、妊婦早産のため海上リレーで標津病院へ運ぶ。

二月十五日、吹雪により山道で車両十一台立ち往生。

四月、第一回、母ちゃん祭り開催。

八月、テニス少年団、初出場で全国優勝。湯の沢町、宅地造成。

昭和五十八年三月、羅臼町史第二巻発行。

五月、町長に佐藤盛雄氏、議長、菊池岩雄氏が就任。議員、二十名が当選される。

六月十五日、「羅臼ビジターセンター」開館。

十一月、国道三三四号、全線舗装となる。

昭和五十九年五月「知床国立公園」二十周年記念。

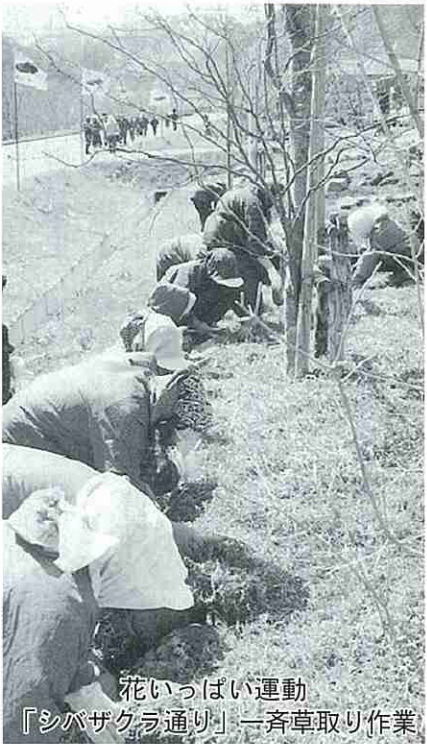
十二月、町民温水プール完成。

昭和六十年二月十三日、吹雪により通行止、妊婦早産のため海上リレーで標津病院へ運ぶ。

二月十五日、吹雪により山道で車両十一台立ち往生。

四月、第一回、母ちゃん祭り開催。

八月、テニス少年団、初出場で全国優勝。湯の沢町、宅地造成。



昭和六十四年(平成元年)七月、ラブリバー制度で羅臼川が北海道第一号として指定される。

平成二年四月、「福寿園」落成。

昭和六十四年(平成元年)七月、ラブリバー制度で羅臼川が北海道第一号として指定される。

平成二年四月、「福寿園」落成。

昭和六十四年(平成元年)七月、ラブリバー制度で羅臼川が北海道第一号として指定される。

平成二年四月、「福寿園」落成。

昭和六十四年(平成元年)七月、ラブリバー制度で羅臼川が北海道第一号として指定される。

平成二年四月、「福寿園」落成。

平成七年三月、ウニ種苗センター完成。

五月、辻中義一氏、町長に就任、議長、湊屋 清氏。議員、十八名当選。宮崎深雪氏、初の女性議員誕生。

八月、知床公園羅臼線、材木岩トンネル開通。

平成四年四月、給食センター新築。

五月、北方四島ビザなし交流

平成四年四月、給食センター新築。

五月、北方四島ビザなし交流

平成三年一月、町民スキー場第二リフトオープン。

三月、ふるさと創生一億円基金活用スタート。

四月、佐藤盛雄氏、町長三期目、議長、湊屋 清氏就任。議員十八名当選。

十月「知床いぶき樽」二十周年、町無形文化財に指定。

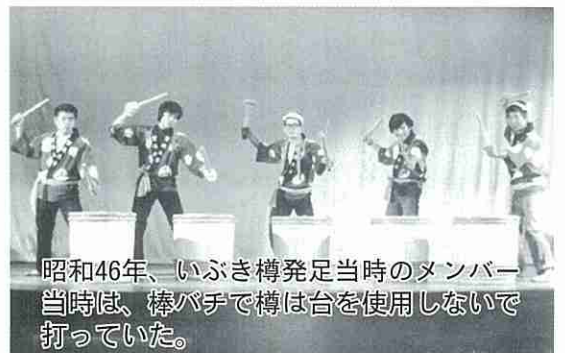
十月、羅臼漁業協同組合四十周年。

十一月、第一回クナシリ眺望駅伝大会。郷土資料館オープン。

十二月、農林漁業体験実習館完成。廃網処理施設完成。羅臼保育園完成。

平成四年四月、給食センター新築。

五月、北方四島ビザなし交流



平成五年、鳥羽一郎「羅臼の男」知床開きにて披露。

平成六年三月、羅臼小学校改築完成。

七月、知床国立公園三十周年記念式典。

十月四日、東方沖地震発生で岩盤崩落の危険があり、岬町孤立化。

十一月、札幌らうす会発足。パークゴルフ場完成。

平成七年三月、ウニ種苗センター完成。

五月、辻中義一氏、町長に就任、議長、湊屋 清氏。議員、十八名当選。宮崎深雪氏、初の女性議員誕生。

八月、知床公園羅臼線、材木岩トンネル開通。



九月、羅臼漁協、すけそ刺網漁船五十隻を減船発表。産業廃棄物処分場完成。

十一月、湯ノ沢浄水場完成。

平成八年四月、シルバークイがセンター設立。

五月、元羅臼町議会議長田中福治氏、羅臼町名誉町民の称号。

十二月、羅臼町第五期総合計画議決。

平成九年二月、高齢者交流いきがいセンター「あいくる」完成。

三月、本町バイパス開通。

四月、東京ろうす会設立。

六月、羅臼町インターネットホームページ開設。

八月、町立病院にCT、X線断層撮影装置導入。

十一月、魚の城下町シンボルマーク決定。

平成十年一月、マーチングバンド「知床イーグルス」全国大会出場。

二月、北方四島周辺水域での漁船安全操業協定に調印。

八月、「北方領土国後館、知床草菜園」オープン。

十月、安全操業開始。

平成十一年一月、海鮮工房オープン。

四月、知床ろうす交流センターオープン。

五月、辻中義一氏、町長二期目、議長、岩原弘多氏。議員十六名当選。

八月、道の駅に指定される。

九月、北方四島自由訪問開始。

十月、羅臼漁業協同組合創立五十周年記念式典。

十一月、深層水取水施設完成。

平成十二年三月、北方領土啓発施設「羅臼国後展望塔」落成。

六月、知床半島横断パノラマウォーク。

九月、羅臼町百年記念式典。文学碑「オホーツク老人」建立。

平成十三年一月、ロシアトロール船、操業阻止漁民



決起大会開催。

五月「羅臼町百年史」刊行。

平成十四年一月、根室管内風速三十六mの暴風雪。

平成十五年四月、脇紀美夫氏、町長に当選。議長、岩原弘多氏、議員十六名当選。

七月、植別小中学校開校百年記念式典。

十二月、ごみ袋有料化。知円別トンネル開通。羅臼町・中標津町合併協議会設置。

平成十六年五月、天狗岩トンネル貫通式。

八月、一般廃棄物最終処分場落成式。

十二月、合併断念、自立決断。春松小学校新校舎落成。

平成十七年一月、自立プラン検討委員会発足。

四月、羅臼町観光協会の名称を「知床羅臼町観光協会」に変更。

六月、羅臼町環境基本条例を可決。

七月、「知床」が世界自然遺産に登録される。

九月、羅臼町議会議員定数を十六名から十名に減数する事を可決。

十月、羅臼町・斜里町が「知床協議会」を設立。

十一月、羅臼町自立プランを策定。

平成十八年一月、天狗岩トンネル開通。

十月、高潮被害が発生、昆布施設が被害を受ける。

平成十九年三月、羅臼町国保病院、看護師不足により、夜間休日の救急受け入れ停止。

四月、脇紀美夫氏、町長二期目、議長、村山修一氏。議員十名当選。

五月「知床世界自然遺産・羅臼ビジターセンター」開館。

十月、知床らうす深層水給水施設完成。羅臼漁港全天候型埠頭が完成。

十二月、町内初のグループホーム「しおさい」オープン。

平成二十年三月、知円別小中学校閉校。

四月、国保病院が診療所へ変更。

十二月、漁協定置漁業部会の寄付により高規格救急車購入。

平成二十一年六月、「知床世界自然遺産ルサ・フィールドハウス」開設。

十月、道東ドクターヘリ初出勤。

平成二十二年一月、漁船二隻がロシアヘリコプターより銃撃を受ける事件発生。

三月、植別小中学校、飛仁帯小学校閉校。

六月、羅臼町開基百周年、町制施行五十周年記念式典。



社会活動を活発に行い、いぶき樽など郷土芸能を観光資源として考えた等、興味深いお話を聞かせて頂きました。



今号は、その後の町の発展に欠く事が出来ない人づくり、特にこれから本町を背負っていく若者や地域活動等をどのように育てていくか、また、うるおいのある町づくりのために文化、

前号に続き議員OBの方々にご登場頂き、お話を聞かせて頂きました。前号では、本町の基幹産業である漁業の発展に欠かす事が出来ない道路や港湾の基盤整備にご苦勞、ご尽力頂いたお話が印象的でした。

また、恒常的な財政難の見地から提案された議員削減。

病院、消防署出入口の融雪対策の提案。高齢者、乳幼児等の問題は、女性の目線が必要であり、後に続いて欲しい。

公共施設等には障害者対策を施すよう要望し介護支援条例の提案をされた。

冬期や暴風雪になると交通が遮断され、孤立化解消のため、地域の住民から強い要望があったトンネル設置の実現。浄水場の完備。海洋深層水の活用プロジェクトの立ち上げ。世界自然遺産に登録された場合の漁業に対する影響の懸念。中標津町との合併の是非など。

前号、今号にご登場頂いた議員OBの方々より、本町のより良い町づくりのために多くの貴重なご意見を頂きました。

今後、議会の役割は多岐にわたり、町の行く末を決める決定機関として益々、重大な責任を担う事となります。町民が安心して住む事が実感出来るよう、議会は町

民のためにあるべきであり、町民とのコミュニケーションを図り、開かれた町政を目指していくために様々な意見を聞いて町づくりを進めていかなければならないと考えます。



最後になりましたが誌面をお借りし、町制施行五十年に際し議会だより「町議会五十年のあゆみ」前編、後編の特別企画にご理解・ご快諾頂いた議員OBの方々には議会だより編集特別委員会委員一同、ご協力頂いた事を心より感謝し、厚く御礼申し上げます。

委員長 高島 譲二

議員OBの方々 後編



中 義 一氏 S58～ 3期

- ・人づくり
- ・地域活動
- ・(花いっぱい運動など)



井 上 章 二氏 H3～ 3期

- ・公共施設の障害者対策
- ・介護支援条例
- ・浄水場建設



川 村 順 吉氏 H3～ 3期

- ・議員定数削減
- ・文化・社会活動
- ・ふるさと羅臼会



黒 川 久 由氏 H7～ 3期

- ・知門別トンネル
- ・深層水
- ・合併問題



宮 崎 深 雪氏 H7～ 1期

- ・病院・消防署融雪対策
- ・浄水場建設



宮 腰 實 氏 H11～ 2期

- ・深層水プロジェクト
- ・ラブリバー計画
- ・特定疾患の交通費助成
- ・合併問題

議会の動き

7月

31日 森繁久彌氏を偲ぶ会 議長

8月

1日 祝「知床旅情」誕生50歳セレモニー
加藤登紀子in知床らうす 議長
7日 羅臼社会福祉協議会創立50周年記念 第2回
羅臼町福祉大会 議長
10日 北海道局整理統合に反対する緊急総決起大会 議長
17日 議会だより編集特別委員会
19日 議会だより編集特別委員会
20日 標津・羅臼両町自衛隊転入隊員歓迎会 議長
25日 第2回北海道市町村退職手当組合議会定例会 議長
28日 故郷札幌らうす会総会
知床旅情誕生50周年を祝う会
(故郷札幌らうす会) 議長

9月

4日 理事者・管理職・議員パークゴルフ大会
5日 第25回根室管内消防団活性化対策各団対抗
パークゴルフ大会 議長
9日 議会運営委員会
10日 経済文教常任委員会
12日 敬老会・高齢者の集い
13日 総務民生常任委員会
14日 議会運営委員会
16日 全員協議会
第3回定例会
18日 第39回らうす漁り火まつり開会式 議長
19日 そらかけ！スコップ舟こぎレース参加
25日 根室町村議会議長会議員研修会
26日 第11回議長杯パークゴルフ大会 議長
29日 第25回町長杯ゲートボール大会 議長

10月

4日 第1回決算特別委員会
全員協議会
第2回臨時会
馬淵内閣府特命担当大臣（北方対策）
北方領土視察 議長
6日 根室林活議連協議会研修会
7～8日 興部町議会合同常任委員会行政視察 議長
8日 全員協議会
議会だより編集特別委員会
9日 中標津地区防犯協会連合会50周年記念式典 議長
10日 第20回クナシリ眺望駅伝競走大会 議長
13日 第2回決算特別委員会
19日 第3回決算特別委員会
20日 議会運営委員会
26日 第4回決算特別委員会

11月

5日 議会運営委員会

羅臼町敬老会 高齢者の集いに参加

9月12日、敬老会・高齢者の集いが公民館で行われ、議員8名に町長・教育長も加わりトーンチャイムによる「さくら さくら」「夕焼け小焼け」の二曲を合奏しアンコールに応じて松原尚子さんのピアノ伴奏で「さらば羅臼よ」を合唱し、和やかな雰囲気の中終了しました。



~~~~~

## 編集を終えて

今年の夏は本当に異常な暑さでした。地域の生産、その全てが狂ってしまったように思えます。羅臼にしてみれば漁業そのものが、又、農業の方もひどい有様です。  
今回はその暑い夏から冬になる前までの議会の動きでした。  
九月は特に、決算特別委員会が組まれ、そしてそれを今後に生かすために行っています。そうすると、冬の足音が少しずつ、聞こえて来ます。  
秋の夜長、じっくり読んで頂けたら、幸いです。  
小野

